

2026年1月7日
株式会社パスコ

(報道資料)

垂直離着陸が可能な固定翼ドローンを活用した3次元レーザー計測の実証を開始 ～従来手法を補完する新たな航空測量手法として実用化を検証～

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、以下：伊藤忠商事）、イエロースキャンジャパン株式会社（本社：東京都調布市、以下：イエロースキャンジャパン）と共に、垂直離着陸が可能な固定翼ドローン（以下：eVTOL※型固定翼ドローン）を活用した航空測量の実用化に向けた協業に関する基本合意書を締結し、3次元レーザー計測の実用化の検証を開始しました。

※ eVTOLは「電動垂直離着陸機：Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft」の頭文字をとった略語



■ 背景

近年、自然災害の激甚化・頻発化により、災害対応・事前防災・インフラ維持管理において、迅速かつ安全に地形情報の取得が可能な航空測量技術の重要性が高まっています。

また、日本の国土は山岳地帯が多く、起伏の激しい地形特徴を持つ地域が多くあります。そのため、対象エリアの状況や特性に応じて、人工衛星や航空機（小型飛行機・ヘリコプター）、マルチコプター型ドローンなどから最適な手法を選定する必要がありました。

こうした課題を背景に、3社はeVTOL型固定翼ドローンを活用したテストフライトを実施し、その結果を踏まえ、新たな航空測量手法の実用化を目指した基本合意書を締結しました。

■ テストフライトの概要

テストフライトには、ドイツ Wingcopter GmbH 製の高性能 eVTOL 型固定翼ドローン「Wingcopter198」を用いて、イエロースキャンジャパンが提供する UAV 搭載型スキャナー「Voyager」を搭載し、検証を実施しました。

<テストフライト>

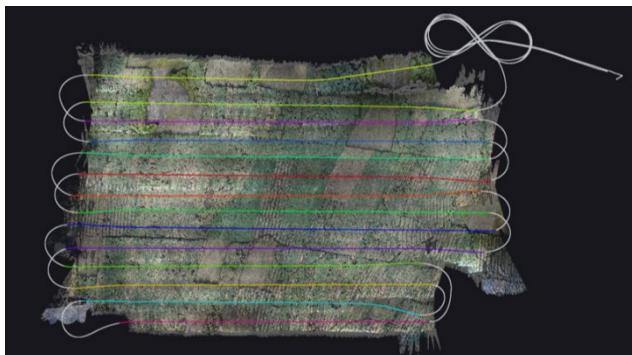
計測範囲：350ha (3.5km²)

コース数：14 コース

コース間：100m

飛行時間：27 分

対地高度：100 m



画像提供:イエロースキャンジャパン

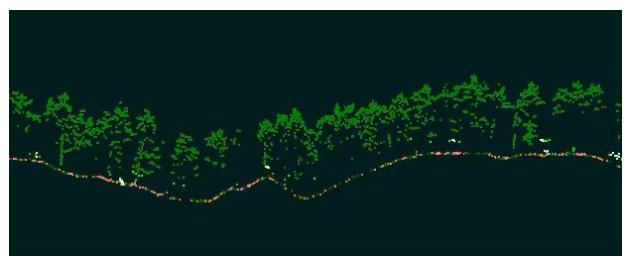
■ テストフライトの成果

本テストフライトにおいて、eVTOL型固定翼ドローンの安定した静音性の高い高速飛行性能と高密度なデータ取得が可能なことを確認できました。

<レーザー計測成果>



3次元座標点群俯瞰図（画像提供:イエロースキャンジャパン）



3次元点群断面図（画像提供:イエロースキャンジャパン）

■ 今後に向けて

パスコは、今回の実証成果を踏まえて、eVTOL型固定翼ドローンを活用した3次元レーザー計測技術について、従来手法を補完する新たな手法として、実務レベルでの適用拡大を見据えた検討を進めていきます。

また、災害対応・事前防災、広域インフラ管理などの分野において、測量業務の高度化・効率化・省人化に貢献するとともに、航空測量事業の持続的な発展を目指してまいります。

■ 各社の役割

伊藤忠商事株式会社

: Wingcopter198 の手配及び提供並びに運航

株式会社パスコ

: 測量機器を搭載した Wingcopter 198 を用いた測量実務の機会の創出、測量情報の分析・評価

イエロースキャンジャパン株式会社

: Wingcopter 198 に搭載する測量機器の手配と提供、測量情報の抽出と提供

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

<https://www.pasco.co.jp/>

(報道機関) 広報部

press@pasco.co.jp

プレスリリースの内容は発表時のものです